

の箇所は、著作権の都合上省略しています。

見 本

2026 年度

愛知学院大学大学院

商学研究科

商学学専攻

一般入学試験問題

博士前期課程 秋季入学試験

一般入試 (2025 年 10 月 4 日実施)

【専修科目】

租税法研究 (I) (租税法実務)

1. 憲法第 14 条において平等原則が規定されているが、所得税における累進課税制度はこの平等原則との関係でどのように評価されるか具体的に述べなさい。
2. 昨今、消費税の税率を引き下げる方向での議論が散見される。一般的に消費税は逆進性があると言われているが、憲法第 25 条の生存権との関係でどのように評価されるか、減税との関係を含め自身の考えを述べなさい。

【外国語】

英語

※辞書 1 冊参照可

1

問題 次の英文を日本語に訳してください。ただし、「注」に挙げた用語については、「注」に示されたとおりの日本語を使用すること。

[Redacted text block]

[Redacted text block]

注

management: マネジメント

manager: マネジャー

art: アート

craft: クラフト

2

問題：以下の英文を日本語に翻訳してください。



博士前期課程 春季入学試験

一般入試 (2026 年 1 月 24 日実施)

【専修科目】

租税法研究 (I) (租税法実務)

1. 「租税公平主義」は、水平的公平と垂直的公平から構成されるとされるが、憲法 14 条および憲法 29 条の観点から、累進課税制度が認められる理論的根拠と、その憲法上の限界について説明しなさい。
2. シェアリングエコノミーの課税漏れへの対処として、プラットフォーム事業者に対する利用者情報や取引情報の提供義務等が検討されている。こうした制度が導入される事による憲法上の問題点について、自身の考えを述べなさい。

【外国語】

英語

※辞書 1 冊参照可

1

問題：マーケティングの基本的な考え方についての述べた、次の英文を日本語に翻訳せよ。



2

問題：以下の英文を日本語に翻訳してください。

[Redacted text block]

[Redacted text block]

注：“raison d’etre”は「存在意義」と訳すこととする。